



# 中野正貴写真展 東京

TOKYO  
MASATAKA NAKANO  
PHOTO EXHIBITION

2019年 11月23日(土) - 2020年 1月26日(日)

TOP MUSEUM

恵比寿ガーデンプレイス内  
東京都写真美術館  
[地下一階展示室]

文化でつながる、まととつながる。  
**Tokyo Tokyo**  
FESTIVAL

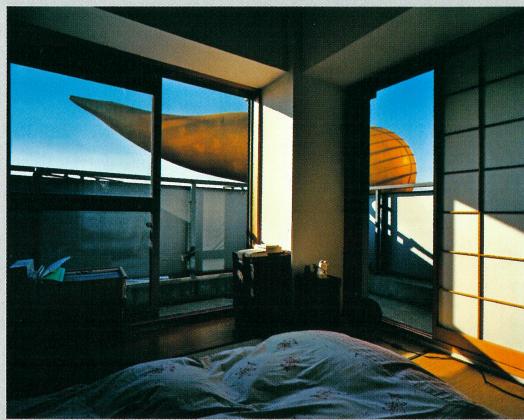
開館時間：10時-18時（木・金は20時まで。1月2日（木）と3日（金）は10時-18時開館）※入館は閉館の30分前まで  
休館日：毎週月曜日（ただし、1月13日（月・祝）は開館、1月14日（火）は休館。年末年始 12月29日（日）から1月1日（水・祝）は休館）

料金：一般 1,000(800)円／学生 800(640)円／中高生・65歳以上 600(480)円 ※()は20名以上団体、当館の映画鑑賞券ご提示者、各種カード会員割引／小学生以下、都内在住・在学の中学生および障害をお持ちの方とその介護者は無料／第3水曜日は65歳以上無料  
※各種割引の併用はできません

主催：クレヴィス 共催：公益財団法人東京都歴史文化財団  
東京都写真美術館 協力：株式会社朝日新聞出版／川崎市民ミュージアム／有限会社アートアンリミテッド

誰  
も  
知  
ら  
な  
い  
都  
市  
の  
断  
面

変貌を続ける世界都市「東京」。2020年オリンピックの舞台となるこの大都市を鋭い感性と巧みな空間把握で30余年にわたり撮影し続ける中野正貴。誰もいない東京の姿を写した『TOKYO NOBODY』、ビルや民家の窓から垣間見たシユールな『東京窓景』、川を漂い水上を浮遊する都市像を捉えた『TOKYO FLOAT』などを発表し話題となる。本展は“東京三部作”といわれる代表作を中心に、新作・未発表作で構成した集大成展。本展用に編成された『TOKYO TOWER』や8×10など大型カメラで撮られた4m超の巨大プリントなど作品約100点によって、巨大都市の変わりゆく表情を中野独自の視点でとらえた「東京」を展覧する。



中野正貴  
MASATAKA NAKANO

1955年、福岡県生まれ。翌56年より東京在住。武蔵野美術大学卒業後、写真家・秋元茂に師事。1980年より独立。雑誌や広告写真を中心活動しつつ、30年以上にわたり大型フィルムカメラを用いて東京を舞台に撮影を続ける。その独自の視点で捉えた作風は映画や文学ゲームなどメディアを横断し様々な業界に影響を与えており、受賞歴に、日本写真協会賞新人賞、木村伊兵衛写真賞、さがみはら写真賞がある。



**EVENT**  
写真家 × イラストレーター  
**対談 中野正貴 × リリー・フランキー**

12月8日(日) 14時-(約90分)

東京都写真美術館1階ホール 定員190名

対談チケット料 1000円 ※イベント当日午前10時より

1階総合受付で「対談チケット」(自由席・入場整理番号付)を販売。

中野正貴・ギャラリートーク

11月24日(日) / 12月1日(日)

12月15日(日) / 1月12日(日)

1月19日(日) / 1月26日(日)

各日14時- 展覧会チケット

(当日有効)をご持参のうえ、地下

1階展示室内にお集まりください。

**関連写真集『東京』発売**

240×217mm、横、並製、168ページ、  
予価: 2500円(税抜)

Crevis

- 1:Jinnan,Shibuya-ku,2019
- 2:Ginza,Chuo-ku,1996
- 3:Yoyogi,Shibuya-ku,2000
- 4:Azumabashi, Sumida-ku,2004
- 5:Nihonbashi, Chuo-ku,2007
- Front Photo:Higashi-Azabu, Minato-ku,2004



**東京都写真美術館**

TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM

東京都墨田区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内  
tel.03-3280-0099 www.topmuseum.jp JR恵比寿駅東口より  
徒歩約7分。東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩約10分。当館には駐車場はございません。隣の有料駐車場をご利用ください。

至 渋谷 東口 動く通路

日比谷線恵比寿駅 1番出口

TOP MUSEUM